

岡山で小児がんフォーラム 「一緒に勉強したかった」 経験者ら闘病の苦悩吐露



小児がんの経験者らが発表したフォーラム

小児がんをテーマにしたフォーラムが22日、岡山市北区鹿田町腫瘍の3センターが初企画し、小児がん経験者の発表があり、闘病生活と将来について考えた。

診断されたピアニスト 福光理絵さん(28) 〓 同中区 〓 は「振り返ると涙が出る。みんなと一緒に勉強したかった」などと闘病の苦悩を吐露。病気や治療の影響で体調不良などが続く「晩期合併症」を抱えて生活不安を訴えながらも、「舞台上に立てることに感謝し、演奏を通して苦しんでいる人の心に寄り添ってきたい」と述べた。

山陽学園大看護学部3年家森結実さん(22) 〓 同所 〓 は高校時に見つかった脳腫瘍の治療と希望や勇気を与えられたら」と話した。

病気の子どもの学習・復学支援に取り組む「ポケットサポート」の三好祐也代表(30) 〓 同市北区 〓 の発表もあった。患者や家族、医療関係者ら97人が聴講した。

「なぜ、私なの？」と尋ねたこともある」と語った。入院を契機に看護師を志し、「病気と闘っている子どもたち」に、『夢はかなうよ』と希望や勇気を与えられたら」と話した。

聴講した。

(平田知也)